

大阪・上町台地をめぐる現代美術展
「オルタナティブ・ロマン」

第2弾速報 参加作家決定と関連企画のお知らせ



(参考画像：メイン会場となる元料亭「阪口楼」の入り口)

上町台地アートワークス実行委員会は、大阪市天王寺区を中心とする「上町台地」をテーマとした、複数アーティストによる現代美術展を開催いたします。また、本企画はアーツサポート関西に設けられた「上町台地現代アート創造支援寄金」からの助成を受けて行われてきた制作やリサーチ活動の再検証、再提示となる展覧会となります。

■ 参加アーティストが決定！

これまで参加が決まっていた松田壮統（2018 年度助成）、Yukawa-Nakayasu（2020 年度・2021 年度助成）に加え、「アノ ヒダマリニテ」展（2021 年度助成）に参加した葎村太一、および関連企画のワークショップも実施予定の兼子裕代（2022 年度助成）、そして本展覧会のキュレーションも担当する笹原晃平（2022 年度助成）の、以上 5 名が作品を展示することが決まりました。

■ 関連企画の開催が決定！

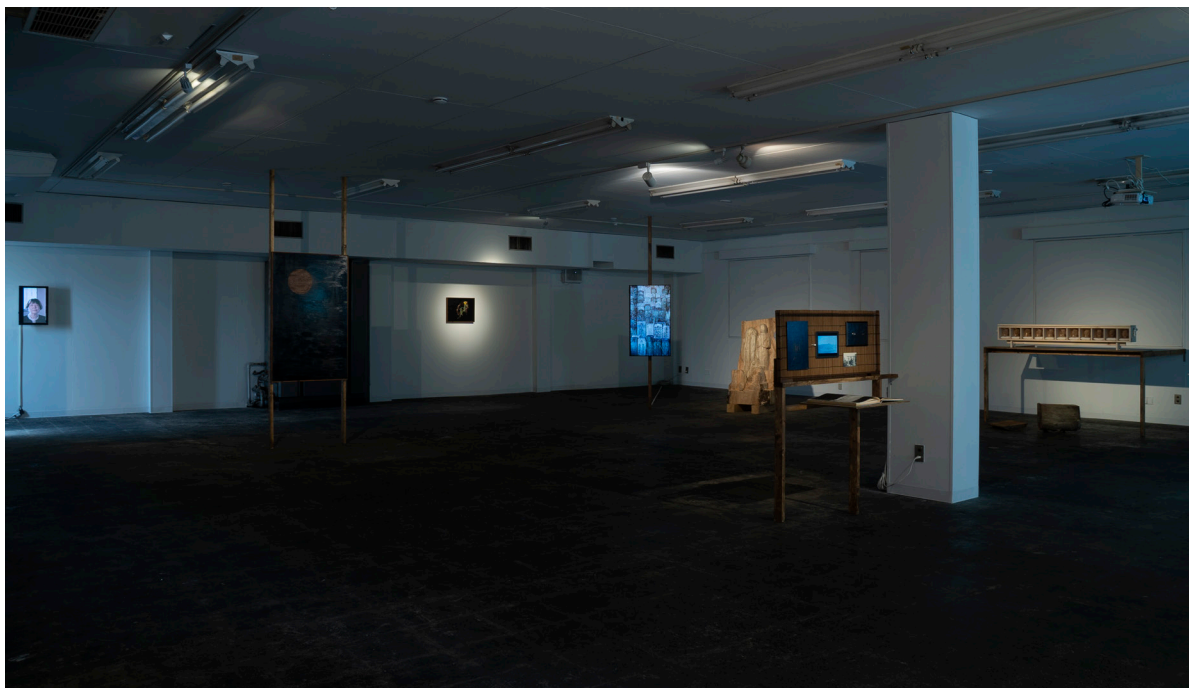
展覧会の事前企画として、2022 年 9 月 17 日（土）と 18 日（日）の 2 日間にわたり、本展参加作家の兼子裕代による、四天王寺および俊徳街道にてフィールドワークとワークショップ「フォトめぐり俊徳道」を開催いたします。「しんとく問答」（後藤明生著）に書かれた「写真のない写真解説」をもとに、フォトモンタージュを制作するワークショップとなります。

展覧会概要

上町台地アートワークス実行委員会は、大阪市天王寺区を中心とする「上町台地」をテーマとした、複数アーティストによる地域調査・地域介入の結果を一堂に集め公開する現代美術展を開催いたします。

上町台地とは、最北端に大阪城、最南端に住吉大社をおき、標高 8~20m ほどの高台になっている地域を指します。ここでは、大阪市の大部分が海底にあった太古から人々が集住し、特に古代から中世にかけて大阪の文化の集約が見られ、それにともない多彩で豊かな人々の営みが行われてきました。今でもその中心地には、日本で最初の官寺である四天王寺と、日本で一番の高層ビルであるあべのハルカスを、わずか 1km 圏内に隣接させるという古今が渾然一体となった景観を育んでいます。

このような特異な場所において、アーツサポート関西に設けられた「上町台地現代アート創造支援寄金」からの助成を受けたアーティストの制作やリサーチ活動が 2018 年以降、継続的に繰り返されてきました。それらの取り組みの総体を、この 2022 年 10 月、一つの節目として、広く一般のみなさまに公開いたします。



参考画像：2022 年「アノ ヒダマリニテ」展示風景（主催：TRA-TRAVEL / 助成：アーツサポート関西 ASK「上町台地現代アート創造支援寄金助成」、一般財団法人おおさか創造千島財団「2021 年度創造的場づくり助成活動」 / 協力：浄國寺、真光院、心光寺、大覚寺、超心寺、イチノジュウニのヨン、柳本京子（敬称略、順不同）） / © Yukawa-Nakayasu、葭村太一

展覧会コンセプト

大阪の上町台地ではこの数年、その特異な文化史へ呼応する形で、アーティストによる表現の実践が行われてきました。それらは、太陽の塔から続く巨大シンボル彫刻や、社会実装などのアートイベントや、大規模アートフェアといった、昨今の大阪で隆盛するアート企画とは全く異なるものです。この文脈を「あったかもしれない小説」(= オルタナティブ・ロマン)と位置付け、彼女 / 彼らが表現を通して史実や土地とどのように向き合ったかに迫る展覧会を目指します。

キュレーション：笹原晃平

開催概要（第2弾発表内容）

「オルタナティブ・ロマン」

会期：2022 年 10 月 12 日（水）～23 日（日）13:00～18:00（会期中無休）

会場：阪口楼（〒543-0063 大阪府大阪市天王寺区茶臼山町1-30）ほか複数会場 9 月下旬発表

入場：無料

参加作家：兼子裕代、笹原晃平、松田壮統、Yukawa-Nakayasu、葭村太一

キュレーション：笹原晃平

主催：上町台地アートワークス実行委員会、上町台地アートプロジェクト実行委員会

共催：和宗総本山四天王寺、一般財団法人大阪地域振興調査会、大阪市立美術館

助成：アーツサポート関西、公益財団法人野村財団

ウェブサイト：<https://uemachiartworks.dcmnt.net>

SNS：

twitter：@ uemachiartworks

instagram：@ uemachiartworks

facebook：@ uemachiartworks



Arts Support Kansai

NOMURA 野村財団

参加アーティスト紹介 (五十音順)

兼子裕代 (かねこ・ひろよ)

青森県生まれ。現在カリフォルニア州オークランド在住。明治学院大学文学部フランス文学科卒業後、会社員を経て、1998 年頃より写真家として活動。2003 年サンフランシスコ・アート・インスティテュートに留学、2005 年同校写真科修士課程修了。2009 年家族の入浴を撮った「センチメンタル・エデュケーション」でサンタフェ写真賞受賞。2020 年歌う人のポートレート・シリーズ「アピアランス」刊行（青幻舎）。2022 年写真の会賞受賞。非常勤講師として、UC デイヴィス、デアンザ・カレッジ、サンタ・クララ大学で教鞭をとる。

笹原晃平 (ささはら・こうへい)

東京都出身、大阪府在住。東京芸術大学美術学部先端芸術表現科卒業。周辺環境への取材とその場の関係性の構築から出発し、インスタレーション作品制作および展覧会企画をするアーティスト。主なキュレーション展に、2012 年『アーキテイルズ』(Do a Front, 山口)、2017 年『スポンティニアス・ビューティー』(京都芸術センター, 京都)、2022 年『千島土地コレクション展 - TIDE 潮流が形になるとき -』(Kagoo・千島文化・クリエイティブセンター大阪, 大阪) などがある。FRAC Grand Large (フランス) に作品所蔵。

松田壮統 (まつだ・まさのり)

1982 年兵庫県生まれ。2009 年 東京芸術大学大学院 美術研究科 先端芸術表現専攻修了。2017-18 ポーラ美術振興財団 在外研修員としてアイルランドに滞在。2019-21 文化庁新進芸術家海外派遣制度研修員としてポーランドに滞在。地震により倒壊した家、そこに差し込んだ光を新しく生まれた光ととらえ、象徴が明滅するような儀式・空間を構築、失ったモノへのアプローチを行う。家・太陽・魂などに潜り込み、新しい光や祈りをみえない生命の流れとして刻んでいく。2019 年ポーランド日本国交 100 周年の展覧会 (京都・ポーランド) に参加。

Yukawa-Nakayasu (ゆかわ・なかやす)

1981 年大阪府生まれ。歴史や習俗や習慣をもとに、社会や身体、日常に内在している営みや現象を視覚化する作品を制作。特に、近年では「生命の循環」まで視野を広げ、生命の営みとその現象との相互関係に着目している。近年の展覧会では、『Dear』(2022, 飛田会館, 大阪) などがある。また 2019 年からアートハブ TRA-TRAVEL を立ち上げ、2020 年『ポスト LCC 時代の 』(京都芸術センター) などの展覧会をプロデュースする。

葭村太一 (よしむら・たいち)

1986 年兵庫県生まれ。日常に溶け込んでしまった“痕跡”に焦点を当て、その奥に存在するであろう目には見えない不確かな部分から作品を制作している。忘却し消えゆくものの時間を保存し、時間知覚の本質を問いかける。主な展覧会に、2021 年個展「Imitation or mimic」(千島文化ホール、大阪)、2020 年個展「REACTION」(VOU、京都)、2019 年「六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2019」(記念碑台、兵庫) など。2020 年から大阪北加賀屋にあるシェアスタジオ「Super Studio Kitakagaya」を拠点に活動。

関連企画

本展覧会では会期前の事前企画など、いくつかの関連イベントを用意しております。

『フォトめくり俊徳道』

「オルタナティブ・ロマン」関連企画 | 写真と言葉をめぐるワークショップ

Arts Support Kansai

フォトめくり俊徳道

日 時： 2022 年 9 月 17 日 (土)
2022 年 9 月 18 日 (日)

会 場： 四天王寺本坊

講 師： 兼子裕代

今年生誕 90 年を迎え再注目される小説家・後藤明生は、晩年、近畿大学で教鞭をとり、大阪で暮らしました。中世から伝わる「俊徳丸伝説」をはじめ上町台地ゆかりの歴史や文学への探究を綴った小説『しんとく問答』（講談社 1995 年刊行）には後藤本人と思われる主人公が上町台地で撮影した写真の記述が多く登場しますが、写真自体は一枚も掲載されていません。本ワークショップでは、これらの“写真のない写真解説”をもとに、「俊徳丸伝説」の舞台である、四天王寺—俊徳道駅間を十三ヶ所に分けて撮影します。はたして、後藤が歩いた平成初期の俊徳街道は、令和の今どのように見えるのか？土地に見え隠れする歴史の出来事や変遷を感じながら、カメラを片手にまち歩きしませんか？

| 日程 | 1 日目：2022 年 9 月 17 日 (土) 10:00-16:00

| 2 日目：2022 年 9 月 18 日 (土) 13:00-16:30

| 集合 | 四天王寺本坊

| 参加費 | 3,000 円

| 持ち物 | カメラ (スマホ可)

| 主催 | 上町台地アートワークス実行委員会、上町台地アートプロジェクト実行委員会

| 助成 | アーツサポート関西

| 講師 | 兼子裕代

| 申込方法 | 上町台地アートプロジェクト実行委員会事務局まで、FAX または E-mail にて、お申し込みください。

FAX：06-6777-5184

Email：info@daichishin.org